

北海道と琵琶湖畔 (ラムサール湿地)の動物と自然

「生命の尊さと自然の大切さを」

滋賀県出身 森田正治氏（獣医師）からのメッセージ

とき：平成29年10月21日（土）午後2時

場所：近江八幡市かわらミュージアム研修室（40席）

受講無料

日本最長の砂嘴・野付半島

傷病鳥獣個体保護から生態系全体の保全へ

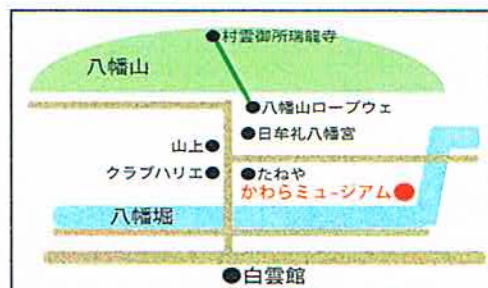
琵琶湖及び内湖の環境保全については「水質」「水生植物」「水生動物」「森林との水の循環」「景観」等について様々な保全の在り方検討や保全活動が展開されています。

琵琶湖の自然生態系との共生は琵琶湖畔に住む私たちにとっては必然のものです。共生が困難になっている自然環境も生じており、動物と自然生態系のあり方等を考えていく必要性が高まっています。

滋賀県に生まれ育ち、北海道で野生動物の保護やラムサール湿地の野付半島の保全にも取り組んできた森田正治氏から北海道での取り組みや琵琶湖及び湖畔の鳥獣、自然の生態系についてのメッセージを受ける機会を設けました。ともに学び語り合しましょう。

森田正治氏プロフィール

- ・滋賀県八日市市出身、北海道 酪農学園大学卒、酪農学園大学名誉博士
- ・森田動物病院院長
- ・NPO 法人道東動物・自然研究所理事長及び道東野生動物保護センター長
- ・初代野付半島ネイチャーセンター長、現在、野付半島ネイチャークラブ会長
- ・北海道東部の家畜診療所へ勤務、20年前に動物病院を開業
- ・母校の獣医学部客員助教授を務め、現在も本州の専門学校講師を続けている
- ・獣医大で野生動物の治し方を教えていないため、保護センターで獣医学生らのセミナーを開講のほか、各地で研修や講習会の企画や講師を行っている



かわらミュージアム TEL. (0748) 33-8567
近江八幡市多賀町 738 番地の 2